あいち民研 公開講演会のお知らせ

【 企画趣旨 】

新学習指導要領が小学校から順次実施されることになっていたこの春、新型コロナ(COVID-19)への対応で全国の学校は一斉休校を強いられました。

この非常事態に乗って、この機会をチャンスとばかり、教育界へのICT全面導入、オンライン授業の拡大を一気にはかろうという動き(ショック・ドクトリン)が、情報産業・教育産業と経産省、文科省のなかにあります。

しかし、それをそのまま受容することには大きな危険があります。

Society5.0という「未来社会像」「GIGAスクール構想」などは、学校の意味や 学びの在り方を大きく変容させるものです。

「公正に個別最適化された学び」の本質は何か。

梅原講演から学校の意味や本来の学びとは何かを考え合って いきたいと思います。だれでも参加できる企画です。

[日時] 9月13日(日) 13:30~16:30

【会場】 名古屋市公会堂 4F 第7集会室

【講演テーマ】

見通しある未来社会像を描き、学習指導と生活指導の実践創造を -Society5.0批判と「個別最適化された学び」論の克服-

【講師】 梅原 利夫さん

(和光大学名誉教授・民主教育研究所運営代表委員)

【資料代】

- 〇あいち民研会員、愛知民教連加盟サークルの構成員は300円
- ○その他は500円 ○学生、院生は無料
- 【 主催団体 】 あいち県民教育研究所(あいち民研)

連絡先: office@aichi-minken. sakura. ne. jp TEL&FAX: 052-623-2373

【 共催団体 】 愛知県民間教育研究団体連絡協議会(愛知民教連)

★各自、マスクの着用をお願いします。

★新型コロナの感染状況によって、Zoomでの講演に変更することがあります。 その場合、9月11日までに講演形式・Zoomへのアクセス方法などを、あいち民 研ホームページ(http://aichi-minken.sakura.ne.jp/「あいち民研」で検索 可)に掲載します。ご確認ください。